第５　達成目標一覧

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況 (H30)
基本施策１　時代を切り拓く力の育成		
柱①　社会的・職業的自立に必要な能力を育成する		
取組１　時代に応じたキャリア教育の充実		
(1) 小・中学校におけるキャリア教育全体計画の作成状況	小　77.0% 中　79.3%	小　100% 中　100%
(2) 将来就きたい仕事や夢について児童に考えさせる指導をしている小学校教員の割合	70.0%	100%
(3) ３日以上の職場体験を実施している中学校の割合	74.0%(H24)	85%
(4) 公立高校全日制における高校３年間でインターンシップに参加したことがある生徒の割合	34.6%(H24)	50%
取組２　より実践的な職業教育の推進		
(1) 公立専門高校全日制における高校３年間でインターンシップに参加したことがある生徒の割合	69.5%(H24)	100%
(2) 全日制専門高校の新卒者の進路希望達成率（進路希望達成者／卒業者）	98.6%(H24)	100%
取組３　特別な支援を必要とする生徒への就労支援の充実		
(1) 県立特別支援学校高等部卒業生の一般就労率	35.5%(H24) (全国の平均27.7%)	40%
(2) 就労支援員の就業体験先の新規開拓件数	228件(H24)	300件
(3) 介護人材育成研修会参加生徒数（年間の延べ人数）	72名	90名
柱②　文化芸術教育と郷土に誇りをもてる学びを推進する		
取組４　文化芸術や尾瀬学校等の郷土資源を活用した学びの推進		
(1) ふるさと（地域の歴史、伝統や文化、自然等）のよさを生かした特色ある教育活動をしている小・中学校の割合	小　96.9% 中　80.5%	小　100% 中　100%
(2) 住んでいる地域の歴史や自然について関心がある小・中学生の割合	小6　66.3% 中3　41.0%	小6　80% 中3　80%
(3) 尾瀬学校に参加している小・中学生の人数	11,224人(H24)	20,000人
(4) 全国高等学校総合文化祭における入賞数	4	8
取組５　古代東国文化をはじめとした文化遺産を活用した学びの推進		
(1) 中学校の歴史的分野の授業において、東国文化副読本を活用した学校の割合	43.0%	100%
(2) 県埋蔵文化財調査センター発掘情報館の展示解説や体験学習プログラムを教育活動に利用した団体数	36団体(H24)	50団体
柱③　国際的視点に立ち、自らの考えを発信できる力を育成する		
取組６　国際理解教育の充実		
(1) 総合的な学習の時間で「国際理解」をテーマに取り組んでいる小・中学校の割合	44.9%	60%
(2) 高校生の海外研修者数及び留学者数	313人(H24)	400人
取組７　豊かな語学力の育成を目指した外国語教育の推進		
(1) 中学校において実用英語検定３級以上相当の英語力を有する生徒の割合	中3　37.1%	中3　50%
(2) 県立高校において実用英語検定準２級相当以上の英語力を有する生徒の割合	高3　36.2%	高3　60%
(3) 中学校において授業の半分以上の時間、生徒が英語で活動している割合	48.8%	80%
基本施策２　確かな学力の育成		
柱④　基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに学習意欲を高める		
取組８　基礎的・基本的な知識・技能を活用し課題解決を図る力の育成		
小・中学校(1)　「全国学力・学習状況調査」における全国の平均正答率との差（小学校）	小6　－1.9	小6　＋2.0
小・中学校(2)　「全国学力・学習状況調査」における全国の平均正答率との差（中学校）	中3　＋1.4	中3　＋3.0

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
高校(1) 学習内容の確実な定着を図るための学び直しや思考力・判断力・表現力等を育成する協同学習を重点的に行う推進校の数	4校	10校
高校(2) 公立高校における進路希望達成率 (進路希望達成者／卒業者)	90.8%(H24)	95%
取組９　しっかりとした学習習慣・生活習慣の確立		
(1) 家庭等での学習時間が１日当たり平均１時間以上の小・中学生の割合	小6　63.5% 中3　74.1%	小6　70% 中3　80%
(2) 毎朝、同じくらいの時刻に起きている小・中学生の割合	小6　91.9% 中3　93.4%	小6　95% 中3　95%
(3) 県立高校における欠席率	全日制　2.0%(H24) 定時制 14.5%(H24)	全日制　1.0%以下 定時制 10.0%以下
柱⑤　発展的な教育により社会へ参画する力を育成する		
取組10　ものづくり産業等へつながる理数教育の推進		
(1) 理科の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに将来役立つと考えている小・中学生の割合	小5　84.0%(H22) 中2　64.8%(H22)	小5　90% 中2　70%
(2) 理科室で観察や実験をする授業を１クラス当たり週１回以上行った小・中学校の割合	小6　65.7%(H24) 中3　74.5%(H24)	小6　70% 中3　80%
(3) 将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと答えた小・中学生の割合	小6　29.3%(H24) 中3　24.6%(H24)	小6　40% 中3　35%
(4) 科学の甲子園（予選）参加高校数	9校	15校
(5) 数学コンテスト参加生徒数	435人	500人
取組11　情報通信技術（ＩＣＴ）活用能力と情報モラルの育成		
(1) 小・中学生のＩＣＴ活用能力 ① コンピュータで文字を打つなど基本的操作が身に付いている小学生の割合	89.1%	100%
② コンピュータ等の情報手段を積極的に活用している中学生の割合	76.6%	100%
(2) 授業中にＩＣＴを活用して指導できる公立学校教員の割合	66.9%(H24)	100%
(3) インターネット利用時に守るべきルールやマナーを身に付けている小・中学生の割合	H26から調査実施	100%
取組12　地域を発展させる大学の充実		
(1) 県立女子大学の「群馬学連続シンポジウム」来場者累計数（H16～）	10,969人(～H24)	14,000人(～H30)
(2) 県民健康科学大学における国家試験合格率 保健師国家試験 看護師国家試験 診療放射線技師国家試験	 100.0%(H24) 100.0%(H24) 94.3%(H24)	 100% 100% 100%
(3) 農林大学校の卒業生が就農又は農林業関係産業に就職する割合	70.0%	80%
基本施策３　豊かな人間性の育成		
柱⑥　自他を大切にする心や自己肯定感を育み、規範意識を高める		
取組13　ボランティア活動や体験的な活動の充実		
(1) 地域社会等のボランティアに参加している小・中学生の割合	小6　39.1% 中3　52.4%	小6　50% 中3　60%
(2) 母校の小学校におけるボランティアチューターに参加している高校生の人数	231人(H24)	280人
(3) 「自然体験活動」「社会体験活動」に係る事業への参加者数（県立青少年自然の家　３施設合計）	2,435人(H24)	2,800人

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
取組14　「向上する心」「やりぬく心」「大切にする心」を育む道徳教育の充実		
(1)「自分にはよいところがある」と回答した小・中学生の割合	小6　78.9% 中3　69.9%	小6　100% 中3　100%
(2)「困っている人を見かけたら進んで助けている」と回答した小・中学生の割合	小6　84.5% 中3　82.0%	小6　100% 中3　100%
(3) 県立高校で道徳の目標と各教科の学習内容との関連表（※１）を作成している学校の割合 ※１：各教科等の学習内容と道徳教育の目標を結び付けたもの	4.7% (道徳教育全体計画についてはすべての県立高校で作成済み)	100%
取組15　自らの行動につながる人権教育の推進		
(1)「自分にはよいところがある」と回答した小・中学生の割合【取組１４再掲】	小6　78.9% 中3　69.9%	小6　100% 中3　100%
(2)「困っている人を見かけたら進んで助けている」と回答した小・中学生の割合【取組１４再掲】	小6　84.5% 中3　82.0%	小6　100% 中3　100%
(3) 人権教育年間指導計画の見直し、改善を実施している学校の割合	小　70.0%(H24) 中　66.1%(H24) 高　70.5%(H24) 特別支援47.4%(H24)	全校種　90%
(4) 人権教育指導者研修の実施回数	8回	各教育事務所において年1回以上実施
柱⑦　いじめ防止に努め、良好な人間関係を築く力を育成する		
取組16　いじめの早期発見・早期解決		
(1) 認知したいじめのうち、指導の結果、解消した件数の割合	小　98%(H24) 中　96%(H24) 高　85%(H24) 特別支援100%(H24)	全校種　100%
取組17　いじめを許さない心を育むための児童生徒による自主的な活動の支援		
(1) 児童会・生徒会活動等を通じて、いじめの問題を考えさせたり、生徒同士の人間関係や仲間づくりを促進した学校の割合	小　57.4%(H24) 中　63.5%(H24) 高　48.2%(H24) 特別支援42.3%(H24)	全校種　100%
(2) ＰＴＡや地域の関係団体等とともに、いじめの問題について協議する機会を設けた学校の割合	小　14.3%(H24) 中　12.9%(H24) 高　6.0%(H24) 特別支援　0%(H24)	全校種　100%
(3)「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と答えた小・中学生の割合	小　96.6% 中　94.9%	小　100% 中　100%
基本施策４　健やかな体の育成		
柱⑧　児童生徒の体力向上を図る		
取組18　体力や運動能力向上を目指す体育活動の充実		
(1) 全国実施している新体力テストの自校の結果から明らかになった課題を解決するために、学校全体で具体的な方策を講じている小・中学校の割合	小　57.6% 中　31.0%	小　100% 中　100%
(2) 新体力テストの結果を基に、自校の体力の状況について家庭や地域に公表している小・中学校の割合	小　25.0% 中　16.0%	小　80% 中　80%
(3) １日の運動時間が、２時間以上の小・中学生の割合（体育の授業時間を除く。）	小5(男)　40.5% 小5(女)　18.3% 中2(男)　69.8% 中2(女)　52.1%	小5(男)　50% 小5(女)　50% 中2(男)　80% 中2(女)　60%
(4) 小・中学校の全国・体力運動能力、運動習慣等調査における合計得点の全国集計との差	小5(男)　－1.76 小5(女)　－1.79 中2(男)　＋0.22 中2(女)　＋2.25	小5(男)　＋1.0 小5(女)　＋1.0 中2(男)　＋2.0 中2(女)　＋3.0

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
取組19　運動部活動の充実		
(1) 運動部活動への加入率	中(男)　86.7% 中(女)　64.6% 高(男)　63.8% 高(女)　30.7%	中(男)　90% 中(女)　70% 高(男)　70% 高(女)　40%
(2) 運動部活動における外部指導者の活用状況	中　63.9%　355名 高　70.0%　84名	中　75%　390名 高　75%　100名
(3) 運動部活動運営に関する校内組織(部活動運営委員会等)を設置している学校の割合	中 高 H25の数値はH26に調査実施予定	中　100% 高　100%
柱⑨　児童生徒の心身の健康を保持増進する		
取組20　健全な体づくりを目指す健康教育・食育の推進		
(1) 薬物乱用防止教室を開催している公立小・中学校、県立高校（全日制）の割合	小　58.7%(H24) 中　94.6%(H24) 高　95.7%(H24)	全校種　100%
(2) 性・エイズ教育講演会を開催している公立小・中学校、県立高校（全日制）の割合	小　60.2%(H24) 中　55.4%(H24) 高　97.1%(H24)	全校種　100%
(3) 朝食を全く食べない小・中学生の割合	小6　0.5% 中3　1.2%	小6　0% 中3　0%
(4) 学校給食における県産食材使用割合（食材数ベース） （重量ベース）	26.0%(H24) 62.9%(H24)	30% 80%
取組21　感染症やアレルギー疾患への対応を含めた児童生徒への適正な健康管理		
(1)　公立学校における心臓検診の二次検診の受診率	小　93.31%(H24) 中　90.13%(H24) 高　85.20%(H24)	全校種　100%
(2)　公立学校における腎臓検診の二次検診の受診率	小　77.33%(H24) 中　53.68%(H24) 高　47.21%(H24)	全校種　100%
(3)　公立学校における「校内食物アレルギー対策委員会」の設置状況	小　59.3% 中　62.3% 高　22.8%	全校種　100%
基本施策５　信頼される学校づくり		
柱⑩　教員の資質を向上し、互いに高め合う職場づくりを推進する		
取組22　大量退職に対応したミドルリーダーの育成等による指導力の向上		
(1) 研修講座等における参加体験型研修の割合	45%	60%
(2) 研修講座における若手教員と中堅教員が学び合う機会の拡充	初任者と10年目経験者研修員の交流	すべての経験者研修相互において実施
取組23　児童生徒に対する心のケアができる力をはじめとした新たな課題への対応力の向上		
(1) 公立学校における教員の特別支援教育研修受講率	82.6%(H23)	100%(H29) ※ 群馬県特別支援教育推進計画おける最終目標年
(2) 「普段の授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていると思う」と回答した小・中学生の割合	小　79.8% 中　69.5%	小　100% 中　100%
(3) 不登校の児童生徒数	小　306人(H24) 中　1,447人(H24) 高　729人(H24)	小　200人以下 中　1,100人以下 高　600人以下
取組24　教職員が力を十分発揮できる職場の環境整備と健康管理		
(1) 学校の教育目標やその達成に向けた方策について、全教職員の間で共有し、取組に当たっている小・中学校の割合	「よくしている」 59.8%	「よくしている」 100%
(2) 公立学校教員の病気休職者に占める精神疾患による休職者の割合	48.6%(H24) (全国の割合59.5%)	全国の割合以下

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
柱⑪　特別な支援を必要とする児童生徒の教育を充実する		
取組25　障害の重度･重複化、多様化への対応と障害のある子とない子の交流や共同学習の推進		
(1) 特別支援学校の児童生徒が居住する地域の小・中学校の児童生徒との交流を行う率【居住地校交流】	19.0%(H24)	50%
(2) 特別支援学校と小・中・高校との交流【学校間交流】	9.8回／校(H24)	12回／校
(3) 特別支援学校と地域の人々との活動【地域交流】	14.1回／校(H24)	18回／校
取組26　特別支援学校のセンター的機能をはじめとした特別支援教育の相談支援の充実		
(1) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの特別支援学校への相談件数	4,632件(H24)	6,000件
(2) 保育所、幼稚園、小学校、中学校、高校からの教育事務所専門相談員への相談件数	3,714件(H24)	4,000件
柱⑫　特色ある学校づくりを推進する		
取組27　家庭や地域の意見を生かした開かれた学校づくり		
(1) 学校の重点課題と関連付けた評価項目による学校評価の結果及び改善策を学校・家庭・地域で共有し、次年度に改善策を反映した学校の割合（小・中・高・特別支援学校）	H26から調査実施	100%
(2) 進路指導・就業体験について充実していると感じている保護者の割合（特別支援学校）	H26から調査実施	80%
取組28　高校教育改革の推進		
(1) 特色ある高校教育の推進	有識者による委員会を設置し、高校教育改革に係る全県的な課題を検討	入学者選抜制度、定時制・通信制課程等の改革を実施
(2) 地区別の再編整備計画の策定及び実施	地区別再編整備計画策定に向けた検討（吾妻地区、富岡・甘楽地区、桐生・みどり地区）	地区別再編整備計画に基づく再編整備のの実施又は実施に向けた準備（開設準備会の設置等）
取組29　私立学校の振興		
(1) 経常費補助金の補助単価水準（生徒１人当たり補助単価水準）	補助単価の全国順位 ・高等学校　4位 ・幼稚園　　2位	補助単価水準の維持
基本施策６　安全・安心な学びの場づくりと防災・危機対応能力の育成		
柱⑬　安全・安心な教育環境を確保する		
取組30　学校の耐震化・長寿命化の推進		
(1) 県立学校施設（校舎等）の耐震化率（棟数比）	93.6%	100%（H27） ※ 県立学校耐震改修計画における完了目標年度
(2) 県立学校施設の長期保全計画の策定	基礎データを調査中	計画策定（H27） ※ 平成26年度末に調査完了予定
取組31　就(修)学確保のための一層の支援と外国人児童生徒の教育の充実		
(1) 中学校を卒業した外国人生徒のうち、就職又は進学した者の割合	92.7%(H24)	100%
(2) 日本語指導が必要な児童生徒のうち、日本の学校に５年以上在籍している者の割合	20.5%(H24)	10%以下
柱⑭　災害等から身を守る力の育成と児童生徒の安全の確保を地域ぐるみで推進する		
取組32　学校・家庭・地域が連携した防災教育の推進		
(1) 学校安全計画に、災害安全に関する職員研修の内容が盛り込まれている学校の割合	86.1%(H24)	100%
(2) 児童生徒等の安全確保を図るため、家庭や地域の関係機関・団体との間で協力要請や会議を開催している学校	81.1%(H24)	100%
(3) 避難訓練の実施に際して、「自分自身が主体的に行動する態度」の重要性について指導した学校の割合	83.9%(H24)	100%

目標の概要	基準年度の状況(H25)	目標年度の状況(H30)
取組33　学校や通学路、地域における安全確保と安全教育の充実		
(1) 通学路の安全確保のために、関係機関等（県・市町村教育委員会、保護者、警察、道路管理者、地域の関係者等）との連携を図っている学校の割合	95.8%(H24)	100%
(2) 児童生徒を対象とした防犯教室を実施している小・中学校の割合	83.7%(H24)	100%
(3) 児童生徒等の自転車事故発生人数	1,233人(H24)	1,000人以下
基本施策７　地域の教育力の向上と生涯学習社会の構築		
柱⑮　幼児教育の充実を図るとともに家庭教育や子育ての支援を推進する		
取組34　幼児期の成長と子育てを支援する社会づくり		
(1) 地域子育て支援拠点数	127箇所	208箇所(H29) ※ 次世代育成支援対策推進後期行動計画における最終目標年
(2) 保育アドバイザーの派遣回数	年間78回(H24)	年間100回
(3) 幼児教育推進のための指導資料の活用割合	公立　90.4%	公立　100%
(4) 教育課程編成に係る連携を小学校と行っている園の割合	公立　21.7%(H24)	公立　100%
取組35　市町村や民間団体と連携した家庭教育支援の推進		
(1) 子育て支援者研修会への参加者数	50人	150人
(2) 家庭教育カウンセリング専門講座修了者の計画推進期間中の累計数	246人(H21～25)	300人(H26～30)
柱⑯　社会教育を推進し地域の教育力を高める		
取組36　地域の学びを支える人材づくり		
(1) 地区別ＰＴＡ指導者研修会の参加人数	1,254人	1,400人
(2) 「まなびねっとぐんま」講師・人材情報登録数	256人	300人
取組37　青少年教育の推進		
(1) 県立青少年教育施設の利用者数 （青少年自然の家・群馬県青少年会館　４施設合計）	110,196人(H24)	120,000人
(2) 「自然体験活動」「社会体験活動」に係る事業への参加者数（県立青少年自然の家３施設合計）【取組１３再掲】	2,435人(H24)	2,800人
(3) 「少年の日」、「家庭の日」普及啓発応募作品数	標語　9,679点 絵画・ポスター1,406点	標語　10,000点 絵画・ポスター 3,000点
取組38　学校支援センター等の充実		
(1) 学校支援センターが機能していると答えた小・中学校の割合	79.7%	100%
(2) 年間の学習計画に地域の教育力を生かした学習を位置付けている小・中学校の割合	79.8%(H24)	100%
(3) 児童生徒を地域行事等に参加させている小・中学校の割合	83.4%	100%
柱⑰　生涯にわたる多様な学びを推進する		
取組39　読書活動の充実と県立図書館の機能強化		
(1) １日当たり３０分以上の読書をしている小・中学生の割合	小　40.4% 中　33.1%	小　50% 中　50%
(2) 公立図書館と連携している小・中学校の割合 ※調査は隔年実施	小　53.2%(H24) 中　32.3%(H24)	小　60% 中　50%
(3) 県立図書館におけるレファレンスサービス件数 （事柄や事実調査、文献　調査等の専門的情報提供サービスの件数。利用相談（書架案内や所蔵調査）は除く。）	7,999件(H24)	9,600件
取組40　多様な課題に対応した学習機会の充実		
(1) ぐんま県民カレッジ入学者累計（H12～）	6,570人(～H24)	7,000人(～H30)
(2) ぐんま県民カレッジ連携機関数	536機関(H24)	600機関